

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	医療事務総論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1)
対象学年	1年	学期及び曜時限	後期 金曜2限	教室名	ハイテクPCルーム
担当教員	能美 智子				
実務経験とその関連資格	急性期病院にて約7年間入院業務を担当。その後大学病院、急性期病院にて入院・外来レセプトの点検業務やコンサルタント業務を20年以上行う。また派遣社員に向けた教育担当に携わる。 医療秘書教育全国協議会では約20年検定委員に携わる。 建帛社、つちや書店より医事コンピュータ検定の書籍を執筆。滋慶教育出版からは基本カルテ例題集、応用カルテ例題集を執筆。 診療情報管理士学会、医療秘書学会会員。 診療情報管理士、診療報酬請求事務能力認定試験、医療情報技師、がん登録実務初級者認定試験取得				
《授業科目における学習内容》					
1. 診療報酬に影響する診療行為を覚えて、患者様に説明することができる。 2. カルテに記載されている医療用語を理解することができる。 3. レセプトコンピュータを使って医療費を計算することができる。 4. 基本レベルに相当する検定試験に合格する。					
《成績評価の方法と基準》					
1. 定期テスト(80%) 2. 予習課題の提出(20%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
基本カルテ例題集(滋慶出版)					
《授業外における学習方法》					
1. 指定された予習課題を次の授業までに行ってくる。 2. 次の授業までに演習内容を読んでくる。 3. 復習として小テストに出題される内容を暗記してくる。					
《履修に当たっての留意点》					
1. 毎回、授業の最初に小テストを行います。前回学んだ内容を覚えてきてください。 2. レジュメを綴じるためのA5バインダーとインデックスを使います。(1回目の授業で説明します)					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・予習復習の進め方を理解する。 ・レセプトコンピュータの操作方法をマスターする。 	基本カルテ例題集(全般)	【予習】シラバスを読んでくる	
	各コマにおける授業予定	1. 予習、復習の進め方の説明 2. レジュメの使い方(資料として通年使用します) 3. 新患登録、病名登録の演習		【復習】小テスト用に指定された内容を暗記してくる	
第2回	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カルテの見方を理解する。 ・初診料と再診料の医療費上の違いを理解する。 	基本カルテ例題集(1~10)	【予習】次の症例を読む。	
	各コマにおける授業予定	1. 小テスト(病名の難読漢字) 2. 初診料、再診料の見分け方 3. レセコンを使って、初診料・再診料を計算する		【復習】ノート整理。小テスト対策	
第3回	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・初診料・再診料の時間外加算について理解する ・再診料の外来管理加算について説明できる 	基本カルテ例題集(1~10)	【予習】次の症例を読む。	
	各コマにおける授業予定	1. 小テスト(初診、再診を見分ける) 2. 時間外加算を計上できる時間帯と曜日について説明する。 3. 時間外に受診した患者のカルテを計算する		【復習】ノート整理。小テスト対策	
第4回	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・投薬料について内服・頓服・外用を区別できる。 ・投薬をコンピュータに登録する場合の区分番号を覚える。 	基本カルテ例題集(1~2)	【予習】次の症例を読む。	
	各コマにおける授業予定	1. 小テスト(時間外加算について時間帯の正解を答える) 2. 投薬に使われる略語を覚える。 3. 投薬を計算する上で決められた区分番号を覚える。 4. 投薬の演習問題を使って医療費を計算する		【復習】ノート整理。小テスト対策	
第5回	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・投薬料の加算について説明できる ・特定疾患処方とはどんな病気が対象か説明できる 	基本カルテ例題集(3~4)	【予習】次の症例を読む。	
	各コマにおける授業予定	1. 小テスト(投薬の略語) 2. 麻毒加算の説明 3. 特定疾患処方管理加算の説明 4. 投薬料に加算のある演習問題を使って医療費を計算する		【復習】ノート整理。小テスト対策	

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・注射料について筋肉注射・静脈注射を区別できる。 ・注射をコンピュータに登録する場合の区分番号を覚える。 	基本カルテ例題集(5～6)	<ul style="list-style-type: none"> 【予習】次の症例を読む。 【復習】ノート整理。小テスト対策
	各コマにおける授業予定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小テスト(特定疾患処方管理加算の対象病名) 2. 注射に使われる略語を覚える。 3. 注射を計算する上で決められた区分番号を覚える。 4. 注射の演習問題を使って医療費を計算する 		
第7回	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴注射の手技料の違いについて説明できる。 ・点滴注射について医療費の計算ができる。 	基本カルテ例題集(7～8)	<ul style="list-style-type: none"> 【予習】次の症例を読む。 【復習】ノート整理。小テスト対策
	各コマにおける授業予定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小テスト(注射の略語) 2. 点滴手技料について1日量の違いを覚える 3. 点滴の演習問題を使って医療費を計算する 		
第8回	授業を通じての到達目標	復習(1回目～7回目の授業内容の確認)	基本カルテ例題集(1～8))	<ul style="list-style-type: none"> 【予習】次の症例を読む。 【復習】ノート整理。後期試験対策
	各コマにおける授業予定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今までの症例(初診～注射まで)を使って医療費を計算 2. 解答と解説 3. 間違えた部分を自分で見つけられるようにカルテを確認する 		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			